

まちづくりの提言



平成22年9月

鹿児島市子どもミーティング

= 目 次 =

1.	事業の趣旨	1
2.	開催状況	1
3.	コーディネーター	1
4.	活動状況及び提言	2
	1班「かごしまキッズ 徳永隊」	2
	2班「探検戦隊モリレンジャー」	11
	3班「さつま歴男歴女プロジェクト」	18
5.	子どもミーティングに参加して	26

1. 事業の趣旨

次世代を担う子ども達が鹿児島市のまちづくりについて、アイデアを出し、夢を語り合い意見交換を行う「子どもミーティング」を開催し、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画を推進する。

2. 開催状況

第1回：8月5日（木） 9:40-11:40 於. 鹿児島市女性会館
趣旨説明、市政概要説明（市政ガイダンスビデオ上映）
意見交換（オリエンテーション、活動計画協議など）

第2回：8月12日（木） 13:00-17:00 於. かごしま市民福祉プラザ
まちづくり探検、意見交換（課題抽出、協議など）

第3回：8月16日（月） 10:00-12:00 於. かごしま市民福祉プラザ
意見交換（協議）

第4回：8月25日（水） 10:00-12:00 於. かごしま市民福祉プラザ
意見交換（まとめ・発表）

3. コーディネーター

かごしま近代文学館・メルヘン館 アドバイザー 石田 忠彦 氏
（鹿児島大学名誉教授）

南日本リビング新聞社 取締役営業局長 山内 聡胤 氏

NPO法人かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎 氏

4. 活動状況及び提言

1班 「かごしまキッズ 徳永隊」



テーマ「子どもの視点から見たまちづくり」

コーディネーター 石田忠彦 先生

<u>リーダー</u>	<u>徳永祥真</u>	<u>(谷山北中学校)</u>
<u>班員氏名</u>	<u>池田桃</u>	<u>(鹿児島純心女子高校)</u>
<u>〃</u>	<u>井之上志帆</u>	<u>(鹿児島女子高校)</u>
<u>〃</u>	<u>鈴東志芳</u>	<u>(喜入中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>松本華月</u>	<u>(桜丘中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>松野下翔</u>	<u>(南中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>山内美咲</u>	<u>(西紫原中学校)</u>
<u>〃</u>	<u>三輪悠太</u>	<u>(鹿大附属中学校)</u>

(1) 活動のねらい

私たちの班では、鹿児島中央駅周辺地区や天文館地区を自分たちの足で歩き、実際に目で見て、まちの様子を探検し、その中で、気付いた点について、提言することになりました。

(2) まちづくり探検

[探検先]

- ・ **鹿児島中央駅**（サービスステーション、総合観光案内所、観光案内板）
平成 23 年 3 月九州新幹線が全線開業する予定。駅ビル整備、バスターミナルの整備が進み、最近では家電量販店が進出し、街が大きく変わってきている。
- ・ **一番街商店街**（アエールプラザ、23 番街区再開発事業）
昔ながらの雰囲気（商店）と再開発ビルによる新しいものが混在している。
- ・ **ナポリ通り**
昭和 35 年のイタリア・ナポリ市との姉妹都市盟約を記念し、当時の「昭和通り」を「ナポリ通り」と命名した。
- ・ **共研公園**（西郷南洲翁宅地跡、鹿児島市立女子興業学校跡地）
郷中教育の流れを汲んだ市内 18 の学舎の一つである「共研舎」（明治 12 年創設）に由来する。西郷隆盛が数年過ごしたところであり、また鹿児島女子高の前身である鹿児島市立女子興業学校があった場所である。
- ・ **観光交流センター**
平成 22 年 8 月甲突川右岸の緑地整備により周遊拠点として建設された。1 階の観光交流スペースでは各種観光情報が入手することができる。
外のオープンテラスには、風力発電と太陽光発電を組み合わせた外灯（ハイブリッド外灯）が設置してある。
- ・ **歴史ロード“維新ふるさとの道”**
甲突川左岸高麗橋上流に下級武士の武家屋敷やいろは歌の広場などが整備されている。
- ・ **大山巖誕生地**
西郷隆盛のいここにあたり、西南戦争では政府軍に加わる。初代陸軍大臣。
- ・ **東郷平八郎誕生地**
日本海軍の連合艦隊司令長官となり、日露戦争でロシアのバルチック艦隊を破るなどの大戦果を挙げた。
- ・ **清滝川通り**

平成20年3月末まで清滝川に蓋をして路面駐車場として利用していた場所に桜や芝生を植栽し、水と緑の歩行者空間として整備された。

・天文館公園

天文館の繁華街近くに整備された緑あふれる公園。

・天文館アーケード

島津重豪が天文観測所「明時館」を設置したことに由来する。

中央駅の一番街とは趣きや訪れる人の雰囲気が違う。アーケードが縦横に整備されている。

・中央公園

島津重豪が設けた藩校の跡地。以前の公園を平成4年に地下駐車場（セラ602）を整備する際に再整備した開放感のある都市型公園。

・名山小学校

市役所横にある。校庭の一部に芝生が整備されている。

(3) まちづくり探検で気付いた課題

① 公園について

- ・天文館公園など、帰宅時間等の確認のための時計がない。
- ・場所がわかりづらく見つけにくい。公園で何ができるのか、何ができないのかわからない。利用している人が少ない。
- ・共研公園の遊具は、土の上ではなくコンクリート？（実際はゴムチップ舗装）の上であり、危険ではないか。
- ・子どもが遊んでいる遊具のそばでサッカー等をしていると土埃等で迷惑ではないか。

② 観光について

- ・中央駅の観光案内板は全く鹿児島を知らない人、初めての人にとっては何が書いてあるかわかりにくい。もう少し詳しい説明がほしい。
- ・中央駅前のバスターミナルは、バス停がたくさんありすぎて、目的地までどう行ったらいいかわからない。
- ・中央駅前には、県外から来た人に不親切。
- ・天文館地区は外国人にわかりやすい表記が少ない。
- ・点字の案内板（観光交流センター）が灰で汚れている。

③ 交通問題について

- ・中央駅周辺地区及び天文館地区は交通量が多く危険である。
- ・天文館地区の自転車駐輪場の場所がわかりにくい。
- ・中央駅の自転車駐輪場は2時間無料である。天文館地区で100円払って

自転車を止めるのは中高生にとって金銭面で負担が大きい。

④ その他

- ・喜入地区では合併により、以前無料だった学校プールが有料になった。
- ・まちが急激に新しく変わってきている。少しずつ変えていくとか古いものを残していくことも大事である。
- ・鹿児島の古いところや田舎の風景を残すことも大切である。

(4) 提言

提言1 公園について

- ① 公園は子どもも利用するので、夕方5時になったら音楽が流れるなど時刻を知らせる時計(風力発電・太陽光発電による)を設置してほしい。
- ② 天文館公園でイベントを開催するなど、PRしてほしい。またそれぞれの公園の特徴を整理し、活用方法等をPRしてほしい。

提言2 観光について

- ① 中央駅の観光案内板については、利用者の目線に立ったわかりやすい案内板を整備してほしい。
- ② 外国人観光客等のため、わかりやすい表記の案内板を増やしてほしい。また、多様な国の方が訪れることから、使用する言語も増やしてほしい。

提言3 交通問題について

- ① 天文館地区において、土・日曜日に時間を設定し、地区内への自動車の進入を制限する。
- ② 歩行者の安全を確保するとともに、雨・灰を避けるため、天文館地区に地下道を整備する。
- ③ 中央駅地区は歩行者の安全を確保するために歩道橋を整備する。
- ④ 天文館地区の自転車駐輪場の場所がわかりにくく、放置自転車もまだ多い。そのため、放置自転車に対するモラルの向上を図るとともに駐輪場の場所の周知を図るため、駐輪場のチラシを「市民のひろば」等で全戸配布する。
- ⑤ 自転車駐輪場については、受益者負担の原則はあるが、1回100円は中学生・高校生にとって金銭面の負担が大きい。そこで、天文館地区へ学生を呼び込む面からも、料金を無料化するかまたは定期利用に限らずに学生割引制度を導入してほしい。

提言4 その他

- ① 旧5町との合併により生じた様々な問題を解決してほしい。
- ② 中央駅地区の再開発などが進み、街が新しくなっていることは喜ばしい。また、古い街並みや田園風景を残すことも大切であり、新しいものと古いものが混在する街がいい。

活動状況（1班）



第1回（8月5日）
石田先生のお話



活動計画について協議



第2回（8月12日）
いざ探検出発、オー！



中央駅前の観光案内板



アエールプラザ



共研公園



大山巖誕生地



天文館公園



第3回（8月16日）
みんなで意見交換



第4回（8月25日）
発表資料の作成



議論の結果を発表



お疲れ様でした

2班「探検戦隊モリレンジャー」



テーマ「鹿児島の魅力をもとに人と歴史から探る」

コーディネーター 山内 聡胤 先生

リーダー	内 蘭 栞	(鹿児島女子高校)
班員氏名	石 川 璃 緒	(鹿児島玉龍中学校)
〃	前 原 ひかる	(喜入中学校)
〃	井 手 隆 裕	(皇徳寺中学校)
〃	岩 城 孝 典	(南 中学校)
〃	岩ノ上 咲 子	(桜島中学校)
〃	新 森 朱 海	(甲南中学校)
〃	吉 田 敬	(志学館中等部)

(1) 活動のねらい

第1回子どもミーティング時に、班内で「鹿児島好きのところ」を各人発表した結果、防犯に携わり安全で快適なまちづくり活動を行っている地域の人々や、あいさつ運動に取り組んでいる人々など、まちづくり活動に取り組む鹿児島に住む人の人柄を挙げる班員が多くいました。

そこで、まちづくりの要素の中で、道路・建物・交通の整備など安全で快適なまちづくりを行うハード面ではなく、「もっとまちをよくしたい」と思う人を育むソフト面について調べることに決定し、テーマを「鹿児島の魅力を人と歴史から探る」とし、魅力ある人を育む鹿児島の歴史・風土を調べ、昔と今を比べてみることで提言しようと考えました。

(2) まちづくり探検

- ① 維新ふるさと館 (郷中教育を学ぶ)
- ② サンエールかごしま (校区公民館活動と生涯学習の事情を学ぶ)
- ③ ボランティアセンター (鹿児島市内のボランティア事情を学ぶ)
- ④ 鹿児島市地域振興課 (鹿児島市の町内会事情を学ぶ)

(3) まちづくり探検で気付いた課題

- ① 校区公民館活動
 - ・ 実務を担当する校区公民館主事は原則として民間の方が従事すべきだが、なかなか人材が見つからず多くの場合学校の教頭が兼務している。
 - ・ 校区公民館運営審議会の役員は全体的に高齢化しており、なかなか後継となる人材が見つからない。
- ② ボランティア
 - ・ 活動している人々の希望に沿ったボランティア活動の紹介ができていくかどうか。
 - ・ センターの場所が市民の方々にわかりにくい。
 - ・ ボランティア従事者は、一般に興味のある分野以外のボランティア活動には無関心である。
- ③ 町内会
 - ・ 地域住民の町内会の加入率が年々下がってきている。

(4) 提言

提言1 校区公民館活動への子どもの参加

- ① 校区公民館における役員野高齢化を是正するため、自分たち中・高校生が校区公民館活動に参加し、同時に保護者も巻き込み、若年層野まちづくりの意識を高める。
- ② さらに、郷中教育のように、今回子どもミーティングに参加したメンバーがそれぞれの校区で中心となり、「校区版子どもミーティング」を開催し、先輩が後輩を教えていくことを実践していく。

提言2 ボランティア活動の活性化

- ① ボランティアセンターの場所や活動状況をわかりやすく案内するため、ボランティアセンターの情報を提供するコーナーを公共施設や中学校・高校などに設置する。
- ② 中高生のボランティア活動を活発にするため、1日体験ボランティアで学べるようにする。
(例) 高齢者と障害者の方々と一緒にクリーン活動など。
- ③ 高齢者や障害者への差別意識が生まれ、「私は役に立っている」という思いあがった気持ちにならないように、活動前にボランティアに関する必要最低限の学習を行い、十分理解したうえでボランティア活動をする。
- ④ 正しいボランティア活動や知識を教えてくれる「ボランティアのためのボランティア」を育成する。

提言3 町内会の活動内容についての情報発信

- ① それぞれの町内会で行っていること描いたポスターを作製し、地元の学校や町内で展示する。
- ② 町内会の加入率を維持・向上できるように「町内会集会」を開催する。
- ③ 自分たち中学生・高校生も町内会活動に参加し、町内会を盛り上げていく。

活動状況（2班）



第1回（8月5日）
森市長のお話



チーム名は、探検戦隊
モリレンジャー！



第2回（8月12日）
維新ふるさと館では
郷中教育を学びました



校区公民館って何？



ボランティアセンターにて



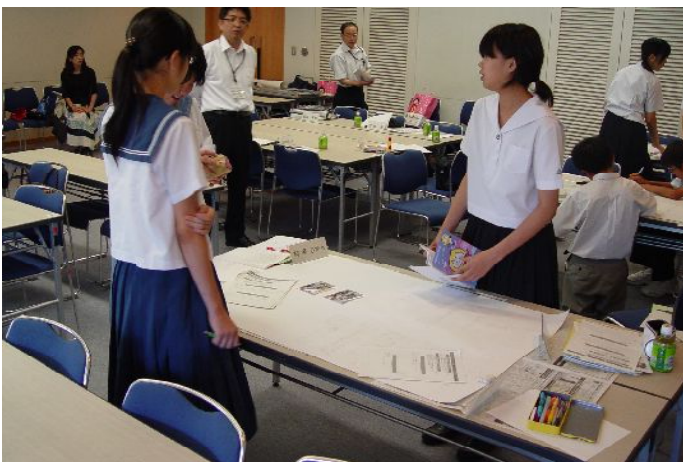
第3回（8月16日）
協議も真剣です



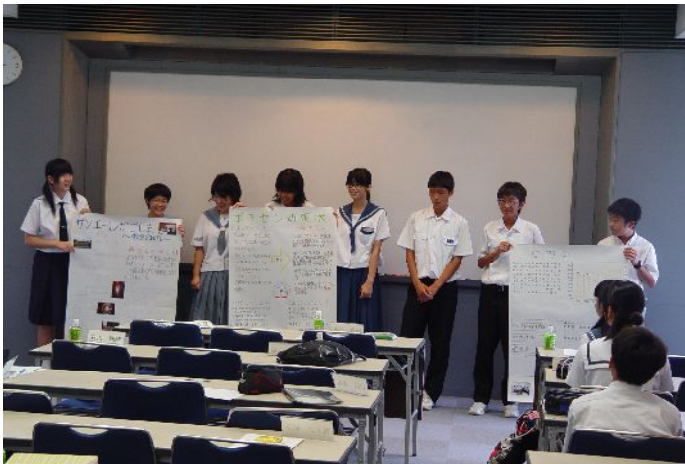
第4回（8月25日）
どうまとめるかな？



町内会の問題は難しいなあ



先生、助けてください



全員で発表しました



ほっとした笑顔



最後に記念写真

3班 「さつま歴男歴女プロジェクト」



テーマ「鹿児島県の歴史・文化・伝統からこれからのまちづくりを考える」

コーディネーター 東川隆太郎 先生

リーダー	武盛桃奈	(桜島中学校)
班員氏名	俣江真喜	(鹿児島純心女子高校)
〃	東恵梨子	(鹿児島玉龍中学校)
〃	岩切康晟	(武中学校)
〃	田畑憂佳	(東谷山中学校)
〃	當房大貴	(皇徳寺中学校)
〃	神川智子	(鹿大附属中学校)

(1) 活動のねらい

初回のミーティングで、班員の多くが鹿児島島の歴史に興味を持っていることが分かり、チーム名を「さつま歴男歴女プロジェクト」と名づけ、鹿児島島の歴史を研究し、今後の鹿児島市のまちづくりに役立てようと考えました。

(2) まちづくり探検

① かがしま文化工芸村

かがしま文化工芸村は、緑豊かな自然の中で、市民が陶芸・木工芸等の創作活動に親しみ、これらを通じてお互いの交流を図ることを目的とし、様々なものづくりに利用できる施設になっている。

施設としては、陶芸のできる陶芸アトリエ、木工芸や竹細工のできる木工芸アトリエ、様々な創作活動に利用できる自由工房がある。

② 西郷野屋敷跡

野屋敷は、西郷隆盛が青年時代に困窮した家計を助けるために、開墾して里芋や甘藷(サツマイモ)などを植えた農地がまわりにあり、西郷がよく一人で滞留していたところである。屋敷といえば広大な邸宅を想像するが、狭い農事小屋で、かがしま文化工芸村の敷地内にある。

③ 観光交流センター

ナポリ通り沿いの甲突川右岸緑地に整備された施設で、平成 22 年 8 月に供用を開始した。市民や観光客が楽しく周遊・散策できるよう、観光案内機能と憩いの広場的な機能がある。

④ 坂本竜馬新婚の碑

1866 年竜馬とおりょうは薩摩の小松邸や霧島を訪れた。これが日本の新婚旅行の始まりと言われている。

銅像は中村晋也氏によって制作され、昭和 55 年 2 月に設置された。

(3) まちづくり探検で気付いた課題

- ① 歴史・文化・伝統のあるまちなのに、まちづくりに生かされていない。
- ② 外国人観光客へ歴史・文化・伝統を伝える努力が不十分である。
- ③ まちを歩いてみると、高齢者には歩きにくい道がある。
- ④ 若い人たちにアピールするイベントやモニュメントが少ない。
- ⑤ まちがオシャレでない。

(4) 提言

提言1 歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える

鹿児島は歴史・文化・伝統にあふれた街である。その良さを生かすために、わかりやすく親しみやすく伝える方策を考えた。

- ① 現在天文館で鹿児島の偉人たちがアニメのキャラクターのように楽しく表現された顔出し看板が設置されている。これらは、歴史などにそれほど興味のない世代にも好評である。そこで、この顔出し看板を利用するかたちで、看板の裏に偉人に関連した史跡の情報を書いて、他の場所にも訪れるように紹介すればいいのではないか。
- ② 鹿児島にはすばらしい文化や伝統が継承されている。その情報を伝えるために、たくさんの方が集まるようなイベントを開催して、そこで文化・伝統についての情報を発信する。イベントは、文化・伝統に興味のない層が集まるイベントがいい。(例えば、嵐やエグザイルなどのコンサート、日本代表の出るサッカーイベントなど)
- ③ 近年は全国的に「ゆるキャラ」がブームとなって、地域を楽しく紹介している。それだけに、これまで活躍してきたキャラクターにプラスするかたちで、鹿児島をPRする「ゆるキャラ」を作ったらどうか。

(ゆるキャラ案)

- ・ チョイ悪犬ぐらつん
 - ・ 西棒
 - ・ おおすみ半島マン
 - ・ しろくるりん
 - ・ ミカンちゃん
 - ・ スウィートポテトくん
 - ・ じゃんぼもち太郎くん
- ④ 鹿児島の魅力を代表するもののひとつは、なんといっても桜島である。それだけに、桜島には多くの観光客を訪れて、なかには一周する方々も多い。車やバスで巡るのも楽しいが、周辺の集落には桜島大根の畑や歴史の古い神社などが点在している。そこでゆっくりと巡れる自転車の利用をもっと薦めたい。そのためには、まず桜島にサイクリングしやすい環境(案内板や自転車用のマップなど)を整備することも必要と考える。
 - ⑤ 高麗橋や中央駅の西口には、鹿児島の伝統工芸品のひとつである薩摩切子をデザインしたオブジェなどが設置されていて、若い人にも目に付く。それだけに薩摩切子のデザインはとっても親しみやすく、また鹿児島らしさを伝えるには有効といえそう。そこでもっと薩摩切子のデザインを活用して、まちのいろんな場所で見かけることが出来るようにしてもいいのではと考える。

提言2 鹿児島を訪れる外国人（観光客を含む）への対応

- ① 鹿児島を訪れる外国人には、しっかりと鹿児島の歴史や文化について知ってもらいたい。そのため滞在時間を有効に活用してもらえるように、外国人に人気のある場所への行き方（公共交通機関）の表示はしっかりとわかりやすいものが必要だ。
- ② 現在天文館や郊外の大型店などで集中的にショッピングを楽しむ外国人が増加傾向にあるという。そこで特に天文館などのお店の看板などに何が売ってあるかが、マークでも言語でもいからすぐに理解できるような表示があったらいい。そのことで外国人の方々が安心して買い物ができるようになる。
- ③ ハード整備に限らず、埠頭や空港などで英語やハングル語等による観光地マップが必要と考える。もちろん現在も製作され、また利用もされているが、どこで何が買えるかまでの具体的なものはまだまだである。より具体的なマップも親切だろう。また案内できるような外国語をしっかりと話せるガイドやホテルマンの研修があってもいい。

提言3 若い人に鹿児島の歴史や伝統文化を受け入れてもらうための対応

- ① 桜島フェリーやバスに広告だけではなく、アニメや有名人を描けたらいいと思う。飛行機や列車にペイントされているのを見かけることがあるし、こうした乗り物がまちなかや錦江湾にあると楽しい。
- ② 世界的にみても現在オタク文化（アニメやアイドルなど）に代表されるようなものがブームなので、鹿児島にも充実した店舗などがあってもいいのでは。そのなかで鹿児島らしさを出したようなキャラやアニメの舞台に桜島などが登場するように誘致してもいいのでは。最近アニメの人気が急上昇している中国の観光客が鹿児島を訪問する機会が増加しているので、そのニーズに応えるという点からもあってもいいと考える。

提言4 鹿児島の歴史や伝統文化を支えてきた高齢者に住みよい街に

- ① もっといろんな公共施設や公共の空間に階段にスロープや手すりを付ける。まだまだ不足している。
- ② ハード整備だけでなく、声かけや手を差し伸べることでも高齢者は活動がしやすくなる。心遣いが大切である。
- ③ 空港などにある動く歩道を増やしてもいいのでは。
- ④ 公園などの休憩のできる場所にベンチを増やす。特に天文館などの中心市街地には欲しい。
- ⑤ 高齢者が訪れる場所に、きれいな水洗トイレを設置する。トイレは高齢者に限らず、観光客にとっても鹿児島の好印象につながる。

活動状況（3班）



第1回（8月5日）
東川先生と初対面



探検先を協議



チーム名を発表しました
「さつま歴男歴女プロジェクト」



第2回（8月12日）
西郷野屋敷跡



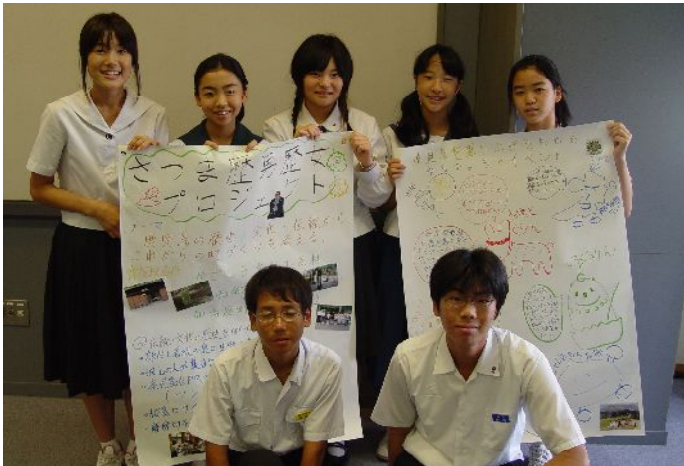
いにしへの・・・



第3回（8月16日）
笑いの絶えない話し合い



第4回（8月25日）
ゆるキャラがたくさん！



発表もうまくできました



とても楽しいチームでした

鹿児島を盛り上げるための ゆるキャライベント



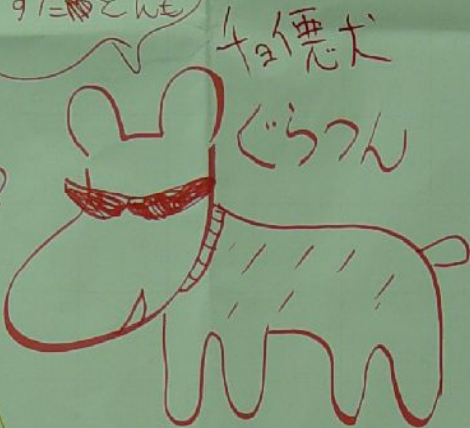
初音ミク
3Dコン
サトリ

エグザイル
にかるかんを
食べてほしい
かすたどんも

スポーツ選手に合
宿に来てもらい、その時
特産品を食べてアピール
してもらいたい。



向井理や嵐
に鹿児島に来て
もらってライブとか
やってもらいたい
そして西郷どんと
写真をとってほ
いさい



4の悪犬
じらつん

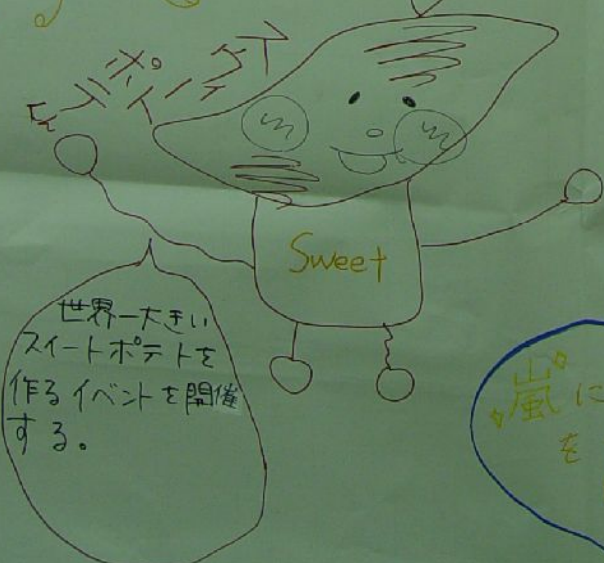


サッカー選手や
プロ野球選手を
招いて、鹿児島の
スポーツをもっと
活発にしてほ
しい!
日本代表とか

中央駅
でいいところ
するミニゲーム
のミニゲームを、来て
下さったかたに
参加してもらって
交流を深め
たい。



いそりりん



世界一大きい
スイートポテトを
作るイベントを開
催する。



嵐にほく
を食べて
ほしい!!



5. 子どもミーティングに参加して

【 1 班 】

○ 谷山北中学校 1年 徳永祥真

子どもミーティングでいろんな意見が出ました。それをふまえて考えたアイデアは、鹿児島を「田舎のような都会」にすることです。都会の機能を失わずに、田舎の雰囲気を出す再開発をするとよいと思いました。田舎のよさは、地域の結束が固いため、防犯や防災、地域のふれあいがいき届くところです。地域の力を活かして、エコ活動や交通整備、商業活動も活発になり、市全体が盛り上がると思いました。

このミーティングで同年代の人と意見をかわせて自分にはない色んなアイデアが聞けて良かったなと思いました。このようなイベントを、各学校でもやったらいいと思います。より多くの意見が集まるし、子ども達がまちづくりのことを考えるよい機会になると思います。

○ 鹿児島純心女子高校 3年 池田桃

鹿児島の自然に対する考え方は、他の地域に誇れる良い考え方だと思う。芝生化や公園の開発など、まちに緑が増えることは見ためや環境にも良い。しかし、次々に進んでいる緑化に市民が興味を持ち、自ら意識して関わっているかは分からない。

そこで、人が集まらない公園や、街角に花壇をつくり、地域住民や一般企業などに呼びかけ、市民の手で花の植えつけや管理をしてはどうか。また、市民がもっと気軽にイベントに参加したり、まちについて考えていることを自由に発言する機会をつくるべきだと思う。学校や街角、病院など、誰もが鹿児島というまちを自分たちでつくっていけるように、意見箱などを設置してほしい。

○ 鹿児島女子高校 1年 井之上志帆

私がこの子どもミーティングを終えて提言したいことは、自転車駐輪場の料金の学生割引制度を導入してほしいことです。中央駅に遊びに行った時に毎回100円を払うのは、おこづかいの少ない中学生・高校生には正直言ってきついです。その結果、中央駅の近くにあるダイエーの無料駐車場には、あ

ふれんばかりの自転車がとめてあります。その中には目の見えない人の為にある点字ブロックの上に駐車している人もいます。きっとその大半は学生だと思います。

だから中央駅の自転車駐輪場を無料化もしくは学生割引制度を導入してほしいなど私は思いました。そうしたら、ダイエーやジョイフルなどに置いていた人も中央駅の駐輪場にとめるので、点字ブロックがふさがれて歩けなかった目が見えない方も、お店を使うのに場所がなくて駐輪できなかった方も駐輪ができるようになるし、とても良い世の中になっていくと私は思います。

○ 喜入中学校 3年 鈴 東 志 芳

これだけ発展している町の中にも、いろいろな欠点があることを発見した。

私が気付いた欠点は、中央駅の前にある看板が分かりにくい点と、公園に砂場がない点だった。

看板については、もう少し建物の名前を加えてほしいし、もう少し、道を分かりやすく書いてほしいと思う。そうすれば観光客にも喜ばれると思う。

公園は、広々としていて芝生もあるし、いろんな年齢の人が利用できる環境があることはいいなあと思ったけど、小さい子どもたちが遊ぶ遊具の下がセメントであることがケガをする一つの原因にもなっていると思った。遊具の足下は砂場にしてほしい。

○ 桜丘中学校 3年 松 本 華 月

私のまちづくりの夢・アイデアは芝生を増やすことです。芝生を増やすといっても、ただ生やすだけではなく、必要などころに必要なだけが良いと思います。つまり、土もなくてはいけないということ。

子ども目線から見て、遊びたいところ、行きたいところはやはりきれいな場所です。(芝生の緑が光るような…)ですが、子どもは汚れて帰ってくるものです。新しいものを取り入れつつ、昔を大切に。だと私は思います。

○ 南中学校 2年 松野下 翔

「子どもミーティング」に参加して、今の鹿児島市について色々なことを考えることができました。今回1班では『子どもの視点から見たまちづくり』をテーマに討論や実際に街の中を見て回りました。

私は日頃から公園のルールについて疑問を抱いていたので、まち歩きに取

り入れてもらいました。

多くの公園を回ってみると、やはり立て看板に色々なルールが書き込まれてありました。また、野球場やテニスコートなどがある公園もありました。立派な施設なのに利用者が少なくてとても残念な気持ちになりました。もっと利用者を増やすためには、それぞれの公園の特徴をPRする必要があると思いました。

お年寄りから幼い子供達が利用する公園ですからルールは絶対必要です。しかし、細かいルールがありすぎては楽しめないと思います。

○ 西紫原中学校 2年 山内美咲

私は子どもミーティングを終えて、次のような提言があります。

公園が見つげにくいという問題ではPRをし、人を集めることをするべきだと思いました。

交通問題の中では特に天文館、中央駅地区での交通量の多さが気になりました。提言では地下道、歩道橋を作るなどの意見があったんですが、作るまでの過程が大変なので実行するのは難しいと思うので、土日に自動車の進入を時間帯で制限するのが一番いいと考えました。

合併の問題では、合併をしたからといって行事をなくす事もないし、いきなり無料だったのに有料にすることはないと思います。

これは個人の感想ですが、夏はとても暑いのでまちの緑化を進めたいです。天文館に一つだけ「緑のカーテン」をつくっているのを見て思った事です。これは暑さ対策にもなり、環境にもいいからです。

○ 鹿大附属中学校 1年 三輪悠太

新しいこと「NEW」を取り入れたほうがよいと思っていたが、新しいことだけではなく古いこと「OLD」も取り入れた方がいいということが分かった。鹿児島には独自の面白い歴史、美しい自然、世界遺産があると思う。

このことを日本中に広めたりして、まず鹿児島を賑やかにして、観光案内看板など、他県他国から見てどう思うかインタビューなどをして、改善点を見つけて、新しい方がよかったか、どちらでもよかったか、ということ調べてから、バランスよく、古い新しいを取り入れたらいいと思う。古すぎるけど損傷がないものはそのままいいし、古すぎて損傷がめだつものは、その部分を改善していったらいいと思う。

【 2 班 】

○ 鹿児島女子高校 1年 内 菌 葉

私は今回調べて一番興味を持ったものは、「町内会の現状」だった。しかし人数の関係もあり、提言としてできなかつたのでここで思ったことを書きたいと思います。町内会といたら一番私たちの身近にあるものだと思いますが、町内会の現状、役割についてなど何も知りませんでした。今鹿児島市の町内会の加入率が下がってきていること、中高生が積極的に参加してくれないことなどが課題だと思われます。

その解決策として“町内会集会”を開催する、町内会のことをまとめてDVDにして町内会に配るなどして町内会のことをもっと知ってもらい、関心をもってもらいたい。そうすればもっと輝く鹿児島市になるのではないかと思います。“鹿児島”という大きなものとしてみるのではなく“一つ一つの校区・地域”としてみて、一つ一つの地域を改善していけば最後には“鹿児島”となっていくと思います。

○ 鹿児島玉龍中学校 3年 石 川 璃 緒

今回のこの「子どもミーティング」においていくつか市長さんに提言したいことが見つかりました。

まず1つ目に教育面について。毎年4月の、全国学力状況調査にも現れているように、鹿児島は平均を下回り続けています。そこで、薩摩の教育論である「郷中教育」を導入してみてもいいでしょうか。つまり、地域の学校内で、先輩が後輩に勉強を教えるのです。生徒も気軽に聞きやすいです。先日、私の学校でもやってみましたが、先輩も後輩も両方とも評判が良かったです。

2つ目に観光面について。もうすぐ、九州新幹線全線開業で、観光客の方が増えてきます。そんな方に鹿児島の歴史を理解していただくために、薩摩の47の「いろは歌」を数個ほどスタンプラリーにしてみてもいいでしょうか。また、観光地の看板を大きくする、表記する言語を増やすことも大切だと思います。

今回、このような機会を頂き、誠にありがとうございました。貴重な経験になりました。

○ 喜入中学校 3年 前原 ひかる

今回のこの「子どもミーティング」を終えてみて、本当にたくさんを知ることができ、それと共に鹿児島独自の大切なことなどを知ることができました。

この会を重ねていく内に鹿児島のもつ自然の素晴らしさ、人の素晴らしさを感じました。そして、自分が住んでいるこの鹿児島を誇りに思いました。また、この町を将来担っていく私たちの責任の重さを改めて考えることができました。

そこで、私は鹿児島市を「市民全員が協力して造っていく共生社会」にしたいと思いました。そのためには市民の方々が発言する機会がもっと必要だと思います。市民の方々が気軽に鹿児島をこうしたいと意思表示できるものは何かないか、と考えました。私はまちのいたる所に目安箱の様なものを設置し、市民の方の意見をより多く取り入れるのはどうだろうと思いました。素人の意見ですが一生懸命考えてみました。

○ 皇徳寺中学校 2年 井手 隆裕

今回の子どもミーティングで分かったことは、今の町内会で加入率が年々減ってきているということと、ボランティアの人たちが今やっているボランティア以外のボランティアには何の興味もないということでした。

町内会での加入率を上げるためには、①お年寄りに昔の遊びを教えてもらう、②みんなが楽しめるような遊びを作る、ということです。このようなことを多くの町内会に取り入れていくことで加入率を上げることができると思います。

○ 南中学校 2年 岩城 孝典

僕の提言したいことは、やっぱり、小・中・高校生が公園でサッカーや野球をできるようにしてほしいということです。最近では、小さい子どもやお年寄りが優先的になっていて、全然遊ぶことができません。このまま、10年、20年と過ぎていくと、体力テストの結果などが低下していきます。しかし、おもいきり遊べるような所が各地域に、一つや二つほどあれば体力テストの結果もよくなります。子供は、毎日、毎日勉強ばかりしていると、ストレスがたまってくるのです。

そこで、お願いがあります。各地域に、サッカーや野球がおもいきりできるような場所を、作ってはもらえないでしょうか。そんなに、大きくとは言

いません。とにかく、サッカーや野球などのできる場所をもうけて下さい。
お願いします。

○ 桜島中学校 2年 岩ノ上 咲子

今、子どもミーティングを終えて、2つの提言を考えています。

1つは「郷中教育」をもっと広めたいということです。薩摩には、先輩が後輩を教える立派な伝統があったことを知りました。先輩が後輩を教えるということは、最近少なくなっていると思います。私は「郷中教育」のことをもっとみんなに広めて、地域や学校で実践しようと思っています。

もう1つは、ボランティア活動の機会をもっと増やしてほしいということです。ボランティア活動をしたくても、いつどんなボランティアが必要なのか、なかなか知ることはできません。またボランティアの機会が少ないと、自分に合った活動を見つけることができません。もっとボランティアの機会を増やして、いろんな場所で呼びかけてほしいと思います。中学生でもできるボランティアがあると学びました。機会があれば参加しようと思っています。

○ 甲南中学校 2年 新 森 朱 海

ごみ問題を私は解決できたらなと思っていたが、鹿児島市はたくさんの問題をかかえていたので驚いた。自分は、関係ないと思っていた。特にボランティアでは、たくさんの方がボランティアを受けるのを待ったり、行動したりしていたのに興味を持った。子育て支援が一番多く、ボランティアを確保するのも大変という現状を知り、私にできることがあれば参加したいと思う。校区公民館や町内会活動では、中高生が積極的に参加すれば自分が住んでいる地域そして、鹿児島市・鹿児島県がよくなるのではないかと思う。

最後に、子どもミーティングを企画して下さった市役所の方々、とても楽しい4日間でした。本当にありがとうございました。来年もあったら絶対参加したいです。

○ 志學館中等部 1年 吉 田 敬

ここまで子どもミーティングを4回やって、鹿児島市がもっと良くなってほしいと思った。その為にはまずまちづくりには、施設の充実と市の空気が明るくなれば良いと思う。市を明るくするために市全体で一気にとというのは難しいと思う。

まず、町内会ごとに町の中で人が親しくなり、となりの町とも仲良くやっ
ていくことが大切だと思う。人が町内会のイベントに行って興味を持って加
入していけば、鹿児島市の方は、他県、他市の人にも親切になるだろう。イ
メージも上がり、一石二鳥だ。こうして町を市をよくしていけば、まちづく
りも簡単にすむ。そして、人に興味を持ってもらうためには、宣伝もしなけ
ればならない。それがうまくいけば市が明るくなって、良いまちになると思
う。

【 3 班 】

○ 桜島中学校 2年 武盛桃奈

まず、今回はこのような企画をしてくださって、ありがとうございました。

私の提言は、まず伝統工芸をまちづくりに活用するということです。加治屋町の維新ロード近くの橋に薩摩切子を使っているライトがあつて、とても素敵でした。そういうものをもっともっと増やしたらいいと思います。それに、そのライトなどに使う切子は、芸術品を作るときに失敗したときの切子を使ってもいいんじゃないかと思います。

そして、桜島フェリー。私はよく使用しますが、フェリーも乗っている人が楽しくなるようなものにした方がいいと思います。例えば、ガンダムモチーフやワンピースモチーフなどに見てみると、マニアの方々も集まってくると思うのです。そうすると、観光客の増加にもつながるはずですよ。

最後はバリアフリーについてです。お年寄りの方々がよく利用する施設には波型スロープやイスをもっともっと増やして、お年寄りにも優しい町にしてほしいです。

○ 鹿児島純心女子高校 3年 俣江真喜

私は、鹿児島の伝統工芸品は世界に誇れるものだと思っています。その中でも利用しやすいと感じたのは薩摩切子です。子どもミーティングに参加する前から注目していた工芸品でしたが、今回参加してみて、その考えは確信に近いものとなりました。まず班に分かれて行ったまちづくり探検で甲突川周辺を散策しました。その際、街灯に薩摩切子が使用されていて、光がつかると夜は美しく、おしゃれだと思った。

また、班のメンバーと話し合いをしているうちに、鹿児島の若者は“カワイイ”“オシャレ”を求めているということを感じました。そこで、甲突川で見たような薩摩切子の街灯を鹿児島市全体に広め、設置したら良いのではないかと思います。古くから伝わる工芸品をおしゃれにすることで、歴史と現代が共生する街づくりが可能になると考えこれを私の提言としたいと思います。鹿児島の魅力を全国にアピールできるきっかけになることを祈っています。

○ 鹿児島玉龍中学校 3年 東 恵梨子

私は、もっと「かごしま文化工芸村」などの伝統工芸とふれあう場所をアピールしてほしいと思いました。

私たちは今回、「かごしま文化工芸村」を見学させていただきました。工芸村は交通の便があまり良くない場所にあり、宣伝などもあまり行われていないようで、私たちの中で以前そこに行ったことがある人はごくわずかでした。こういうところがあるんだ！といったアピールや、市街地からの交通ルートを書いたパンフレットを作ったら各地からのお客さんも多く来ていただけたらと思います。

今回、初めて工芸村に行って工芸の奥深さや種類、参加されている方々の笑顔に、とても感動しました。工芸にふれているとこんなにも心が癒されるのだということに気がつきました。だから、これからもっと多くの方が工芸などの文化にふれあうことができるようになったらいいなあと思います。鹿児島が近代と歴史、どちらも有名な町になってほしい、そう願います。

○ 武中学校 2年 岩 切 康 晟

今回の子どもミーティングに参加させていただきありがとうございました。これまであまり考える事なかった鹿児島について、深く考えることができたと思います。

計4回のミーティングの中で、言えなかったことや最後の発表でまとめる事ができなかった僕の考え「こうなったらいいなあ」と思ったことを、ここにまとめたいと思います。

登山をする時に杖をよく貸していただくことがあります。大きなショッピングセンターなどでは、こういった杖（や押し車みたいなもの）の無料貸し出しを行ったらいいな、と思います。また、最近の高齢者の方は、白内障や緑内障といった目の不自由な方が増えてきているそうです。その方々のために音の出る信号機にさらに工夫してみたらどうでしょうか。（青信号が点滅を始めると音のテンポが速くなるとか）

今回、子どもミーティングに参加させていただいたことで自分の住む町を改めて見つめ直すことができました。これを期に、鹿児島市の発展のためにいろんな行事に積極的に参加したいと思います。

○ 東谷山中学校 2年 田畑憂佳

私たちは、鹿児島県の歴史・文化・伝統からこれからのまちづくりを考える為、維新ロードを見学しました。その際、橋に薩摩切子が飾ってある事に気づき、また、夜になるとライトアップすることを伺ってとても良いアイデアだと思いました。他の場所にもこれらをたくさん設置すれば、鹿児島県へ来られた観光客の方々も鹿児島県の伝統文化にさりげなく触れる事ができ、喜んでくださるのではという意見がでました。

また、外国では日本のアニメが人気だという事から、外国人観光客の方向けに、まちのいろんな場所に人気アニメのキャラクターを配置したら、もっと鹿児島を身近に、親しみを持ち、喜んでもらえるのではないかという意見も出ました。

短い時間ではありましたが、コーディネーターの先生をはじめ、役所の皆様のおかげで、自分達の住む鹿児島の事を皆で考えられた事は貴重な体験となり楽しい時間となりました。ありがとうございました。

○ 皇徳寺中学校 2年 當房大貴

僕は鹿児島市をさらに活発にするためには、「ゆるキャラ」などで町をPRしていけばいいと思います。鹿児島は歴史、特産物などが豊富で観光名所などもたくさんありますが、その多くが他県の人たちにはあまり知られていません。なので、今、流行の「ゆるキャラ」やイベントなどでそのような鹿児島の良さを知ってもらうきっかけになればいいと思います。

○ 鹿大附属中学校 1年 神川智子

これまでの話し合いで私が思いついた事は、アニメ専門道を広げると言うことです。私の最初の提言は、国際交流、外国人誘致ということでした。アニメ専門道を広げると言うことは外国人誘致に大きく影響します。日本のアニメは外国にとっても人気です。もちろん鹿児島が一番近い中国や韓国にも人気です。鹿児島のアニメ専門道が広がれば、わざわざ東京までいかなくて済みます。近い鹿児島で用事が済む、となれば鹿児島に来ること間違いなしです！なので、私は鹿児島のアニメ専門道を広くしたらいいと思います。

この子どもミーティングでは、とてもいい経験をさせていただきました。この先ずっと参加したい所存です。ありがとうございました。